

葛城中学校だより

令和 5年 3月 8日(水)
岸和田市立葛城中学校
岸和田市土生町213-1
電話 072-427-5907
FAX 072-428-4494


いよいよ3月。それぞれの学年で**結び**を考えていく月になりました。

3月3日は雛祭り。本来は旧暦3月3日、現在の暦こよみに当てはめれば4月初めの行事でした。桃の花が咲くのは3月終わりから4月初めにかけて。だから、別名、桃の節句。桜より低木なので綺麗な花がより身体の近くで見ることができます。

雛祭りのルーツは中国渡来の「上巳じょうし」の節句。中国では3月3日に水辺で厄やくを払う習慣がありました。これが日本に渡り3月3日には厄払い儀式が行われるようになりました。雛の語源

あかりをつけましょ
ぼんぼりに
お花をあげましょ
桃の花
五人囃子の
ふえたいこ
今日をは楽しい
ひな祭り

作
サトウハチロー



はおそらく雛形。『桃の節句』は、これから自然界・人間界の活動が新しく始まるうとする春先、農作業を始めるにあたり人間の汚れを払う行事。雛はこの汚れを人の形ひながたの雛形に移して川や海に流し捨てる「形代かたしろ」として使用されたく、特に女子の祭りというわけではなく男女が共に参加していました。その意味では雛人形は一度ずつ作って、一度ずつ捨てるのが本来のありようでした。今のような雛人形が作られるようになったのは江戸時代の中ごろからといわれています。

6日は啓蟄けいちつ(3/6~21)でした。春分の21日までの15日間のことを言うそうです。啓は「ひらく」、蟄は「土の中で冬ごもりをしている虫」のことです。冬ごもりをしている虫たちが、寒さが緩ゆるんで春の陽気になってきたことで、土の中から動き出す季節のことを指す言葉です。春の気配を感じさせる言葉です。徐々に春に近づいていくのは確かです。もう寒さがぶり返してくることはないと思いますね。

○未来を信じて

3年生の中学校生活の始まりは、コロナウィルス感染予防での分散登校からでした。マスクの着用、手指の消毒など、日々の生活や学校での学習や行事など、様々なことに今までにはない制約がかかりました。今までの日常が一変してしまいました。このマスクの着用の生活は日本政府は3月13日から「マスク着用を強制しない」というように伝えてきています。

ただし、中学校生活の中では3月中は今まで通りの着用になります。

卒業式は、3年生にはマスク着用を強制しません。入場から退場までマスクを着用しないでかまいません。ただ、マスクを着用したい人たちもいるはず。その人たちは遠慮することなくマスクを着用してください。

科学技術が進み人間は何にでも対応でき、コロナウィルスもすぐに封じ込めるものと思っていました。しかし、こういう新しいウイルスが出てくると人間も無力な部分があるのだと思い知らされています。

コロナ禍の中での3年間。皆さんは大きく成長してくれました。自然は今年も変わらず春が来ます。もうすぐ目の前には、コロナに打ち勝った未来が開けてくるはず。希望をもって多くの人々と心と心をつなぎ前を向いて進んでいきましょう。

◎14日は卒業証書授与式です

3年生には、もうあとわずかになった中学校生活。給食も今日と木曜日を残すだけとなりました。卒業式前には中学生が大好きなメニューが決まって出てきます。何だかわかりますか？そう、カレーライスです。9日が3年生が、最後の給食になるので、この日は豪華にエビフライカレー。給食センターの栄養士さんが考えてくれました。しっかり給食を味わい、残さず食べましょうね。牛乳もね、残量「0」を！

さあ、「終わりよければすべて良し！」で卒業式を迎えましょう。

3年生は進路に向けて、最後の追い込みに入っています。今年は1月から受験が始まった人もいました。2月の私学受験に公立特別選抜試験と続き、進路が決定した人たちもいますが、多くの方は3月10日の一般選抜試験をめざし、今、必死になって勉強をしています。4月からの新しい出会いのために、もうひとがんばりしてください。『全員合格』を祈っています。

三年間の締めくくり。1年生と2年生は、この時期の3年生の姿をしっかり見ています。良い伝統は必ず受け継がれていきます。進路が決定した人たちの卒業式を迎えるまでの様子に注目したいと思います。頑張っている姿をきっちりを見せてください。

三年間の思い出がいっぱいつまった葛城中学校ともお別れの時がやってきました。日本人が春を待ち焦がれるのは新しい生活が始まるのは、お正月ではなく4月だからです。

新しい出会いの前に少し悲しい「別れ」の季節を経験する卒業式！

胸を張って卒業証書を受け取りにきてください！

